

令和元年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業（精神障害分野））

医療観察法の制度対象者の治療・支援体制の整備のための研究

分担研究報告書

通院医療の実態を把握するための体制構築に関する研究

研究分担者 大鶴 卓

国立病院機構琉球病院

研究要旨：

本研究は通院処遇の実態を安定的かつ継続的に把握・検証することで医療水準を向上させることを目的とした通院データベースシステム構築に関する提言を行うことを目指し研究を進めた。

令和元年度は通院医療機関の医療状況調査と対象者の予後調査を開始した。その結果、医療状況の実態を把握するための調査では、637施設にアンケート調査を行い459施設から回収（回収率72%）できた一方、対象者の予後調査の回収率は、現在推定される通院対象者数の17%に止まった。今後予後調査の回収率を上げることが課題としてあげられ、そのために調査方法、調査内容を再検討するとともに、被験者要因への対策、研究協力施設の絞り込みなどがあげられた。

医療状況の実態としては、回収できた施設の中で対象者を受けたことがある施設は392施設（85%）あり、そのうち9割の施設が平成30年7月16日から令和元年7月15日の期間内に対象者を1名～3名受入れていることがわかった。また226施設が複雑事例「あり」と回答した。

対象者の予後の実態としては、今回得られたサンプルの特徴として、予後が比較的安定している群と考えられた。一方、複雑事例の実態は把握できていない。

今後は本研究を継続しつつ、回収数を上げ、通院データベースシステム構築に向けて必要な課題を抽出していく。

研究協力者（順不同、敬称略）

| | | |
|-------|----------------|------|
| 久保彩子 | 国立病院機構 | 琉球病院 |
| 前上里泰史 | 同上 | |
| 知花浩也 | 同上 | |
| 高尾 碧 | 島根県立こころの医療センター | |
| 野木 渡 | 浜寺病院 | |
| 櫻木章司 | 桜木病院 | |
| 小澤篤嗣 | 神奈川県立精神医療センター | |
| 長谷川直実 | 大通公園メンタルクリニ | |

ック

| | |
|------|------------------------|
| 平林直次 | 国立精神・神経医療研究センター病院 |
| 竹田康二 | 同上 |
| 河野稔明 | 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 |

A．研究目的

医療観察法が施行され14年が経過し、医療観察法医療の実態を安定的かつ定期的に実態把握するために、平成27年度から医療

観察法重度精神疾患標準的治療法確立事業（入院データベース事業）が始まり、全国の指定入院医療機関のネットワークを通じて収集されたデータを分析し、入院処遇の実態把握が可能となった。しかし、通院処遇においては、入院処遇のようなデータベース事業は行われておらず、研究班による実態調査に頼っているため、通院医療の実態が継続的に把握できず、通院医療の効果を検証できていない課題がある。

本研究は通院医療の実態を安定的かつ継続的に把握・検証することで医療水準を向上させる通院データベースシステム構築に関する提言を行うことを目的とする。

平成 30 年度は大鶴分担班会議等で通院医療に携わる各種医療関係の団体や協会の関係者からの意見聴取をもとに、通院データベースシステム案を作成し、通院医療の実態を把握するための調査内容・項目を検討した。その結果、収集項目は必要かつ最低限にすること、通院処遇で使用している通院評価シートと連動する、の 2 点に集約された。

平成 31 年度は全国の指定通院医療機関に医療状況及び通院対象者の予後の実態把握を試みるとともにデータベースシステム構築に向けた課題を抽出することを目的とする。

B．研究方法

1．調査対象

令和元年度の研究は 2 つの調査から成り立つ。

一つ目の調査は通院医療状況調査（以下一次調査）、二つ目の調査は、通院対象者の予後調査（以下二次調査）である。

一次調査は、平成 31 年 4 月 1 日時点で通院指定を受けている全国の指定通院医療機関 637 施設を対象とした。

二次調査は、一次調査に回答した施設の中で、平成 30 年 7 月 16 日から令和元年 7 月 15 日の期間内に通院対象者がおり、二次調査に研究協力いただける施設かつ対象者の研究同意が得られた者を調査対象とした（図 1）。なお、研究協力者から対象者に直接文書を用いて趣旨を説明し、本人から文書にて同意を得た。

2．データ収集方法

一次調査は、通院医療状況に関するアンケート（表 1）を郵送で配布し、通院医療を担っている担当者（主に精神保健福祉士）に記入を依頼し、郵送にて回収する。

二次調査は、通院医療予後シート（表 2）を郵送で配布し、対象者の担当チームスタッフに記入を依頼した。なお、共通評価項目の評定は、毎月作成している通院医療評価シートの直近の評定を転記した。また、対象者が特定されないように各施設の研究協力者は、対象者の氏名を削除し、匿名化したうえで記入した予後調査シートをレターパック[®]によって回収した。

3．調査期間

令和元年度から調査を開始し、令和 7 年 7 月 15 日までとし、年に 1 回調査対象施設へアンケートを送付し、回収する。

4．調査内容

一次調査では、以下の情報を収集した。

- ・通院指定を受けた時から現在までの対象者受入れの有無
- ・平成 30 年 7 月 16 日から令和元年 7 月 15 日の期間内の対象者の有無
- ・通院対象者受入れ上限の有無、人数
- ・業務の負担、内容
- ・複雑事例の有無、内容
- ・対象者の予後調査協力の可否

二次調査では、平成30年7月16日から令和元年7月15日の期間内の対象者の情報について以下の通り収集した。

- ・性別
- ・年齢
- ・医療観察法処遇回数
- ・通院処遇形態
- ・通院処遇開始年月日
- ・対象行為
- ・主診断、副診断(国際疾病分類 ICD-10)
- ・保護観察所
- ・処遇状況(通院継続・終了・処遇終了年月日・処遇終了した理由・処遇終了時点の対象者の状況)
- ・対象行為の有無、内容
- ・自殺企図の有無、内容
- ・問題行動の有無、内容
- ・クロザピン使用の有無
- ・持続性注射薬使用の有無
- ・アルコールの使用の有無、内容
- ・薬物等の問題使用の有無、内容
- ・精神保健福祉法による入院の有無、期間、入院形態
- ・就労の有無、雇用形態
- ・生計
- ・居住形態
- ・精神保健福祉サービスの利用の有無
- ・直近共通評価項目の評定
- ・記載に要した時間

5. 解析方法 収集されたデータの集計値を提示する。

6. 倫理的配慮

本研究は、琉球病院臨床研究倫理審査委員会の承認および日本精神科病院協会倫理会議審査の承認を得たうえで実施した。

C. 研究結果

1. 一次調査(表3)

637施設に一次調査アンケートを送付し回収できたのは459施設(72%)であった。そのうち通院指定を受けて現在まで対象者を受入れたことのある施設は392施設(病院355、診療所37)、受入れたことのない施設は67施設(病院60、診療所7)であった。

平成30年7月16日から令和元年7月15日の期間内に対象者を受入れている施設は、304施設あり、対象者1名を受入れている施設は155施設、2名受入れている施設が79施設、3名受入れている施設が40施設あり、受入れ人数が3名以下の施設が9割であった。

対象者受入れの業務負担に関して、「(負担だと)かなり思う」18%、「思う」59%、「どちらでもない」17%、「あまり思わない」5%、「思わない」1%となり、「かなり思う」と「思う」を合わせ77%となった。負担になっている業務は、「毎月の提出書類」が32%と最も高く、次いで「ケア会議参加」18%、「対象者受入れ準備」17%であった。

処遇中の事例に複雑事例の有無については、「あり」が226施設、「なし」が163施設あった。複雑事例の内容について、「病状が安定しない」87件は最も多く、次いで「医療への不順守」72件、「精神保健福祉法(以下P法)入院を繰り返す、または長期入院」62件、「金銭管理の問題」52件、「家族の非協力的態度」49件などとなった。また、「重大な他害行為」8件、「他者への身体的な暴力」22件、「他者への非身体的な暴力(暴言的言動、態度等)」32件あり、再他害行為およびそれに類する問題行動も認められた。

二次調査協力について、協力の意向を示した施設は233施設であった。

2. 二次調査結果（表 3、表 4、表 5）

二次調査の協力の意向を示した 233 施設のうち、平成 30 年 7 月 16 日から令和元年 7 月 15 日の期間内に対象者を受入れている施設は 220 施設あり、対象者の予後調査シートを回収できたサンプル数は 116 であった。

基本属性について、性別は男性 89 名、女性 27 名、平均年齢は 48 歳（±11.6）、医療観察法処遇形態は、移行通院（入院 通院）101 件、直接通院 14 件であった。対象行為は、「殺人・殺人未遂」33（28%）、「傷害」46（40%）、「放火」24（21%）、「強盗」6（5%）、「強制わいせつ」6（5%）、「強制性交等」0 で「傷害」「放火」「殺人・殺人未遂」の 3 種類で 9 割を占めた。診断名では、「F2」92 名、「F3」13 名と多数を占め、「F0」「F1」「F5」「F6」「F8」は数名であった。令和元年 7 月 15 日で処遇を継続中の者は 87 名（74%）、処遇終了した者は 29 名（25%）であった。処遇終了した者の処遇終了した理由は、「期間満期終了」21 件、「本法による医療が不要」5 件、「再入院」1 件、「その他」1 件であった。処遇終了した時点の対象者の状況について、「精神保健福祉法入院」3 件、「精神保健福祉法通院」24 件であった。

平成 30 年 7 月 16 日から令和元年 7 月 15 日の調査期間の処遇状況について、「再他害行為」1 件（傷害）、「自殺企図」3 件（すべて未遂）、「問題行動」13 件（身体的な暴力 2 件、非身体的な暴力 3 件、医療の不順守 5 件、性的逸脱行動 1 件、その他 2 件）であり、サンプルの約 1 割に問題行動を認めた。「クロザピン使用」18 件、「持続性注射薬使用」28 件、「アルコールの使用」19 件（一時使用 17 件、有害使用 2 件）、「薬物等の問題使用」3 件（有害使用 3 件）であった。調査期間内に精神保健福祉法入院をした者は 26 名おり、1 回入院した者は 26 名

（医療保護 14 名、任意 12 名）2 回入院した者は 7 名（医療保護 2 名、任意 5 名）、3 回入院した者は 1 名（任意入院、4 回入院した者は 1 名（任意 1 名）でサンプルの 2 割程度に精神保健福祉法入院が認められた。就労について、40 名が就労し、「福祉的就労 A 型・B 型」が 30 名と最も多く、「一般正規雇用」5 名、「障害者枠正規雇用」3 名、「パート、アルバイト」2 名であった。収入（複数回答可）は、「障害年金」52 件、「生活保護」43 件、「給与等」28 件などであった。住居について、「単身生活」32 名、「家族同居」28 名、「グループホーム」23 名の順に多く、全体の 7 割を占めた。精神保健福祉サービス等の利用について（複数回答可）、「あり」が 102 名おり、内訳は「訪問看護」86 件、「デイケア」50 件、「保健所の定期訪問」44 件の順に多かった。対象者のほとんどがさまざまな精神保健福祉サービスを利用していることがわかった。

共通評価項目の評定について、各項目の平均値をみると、「ストレス」「個人的支援」「内省・洞察」「治療・ケアの継続性」が比較的高く、「性的逸脱行動」「自殺企図」は低かった。標準偏差は「治療・ケアの継続性」「現実的計画」が高かった。すべてにおいて平均値が 1 点を超える項目はみられなかった。

最後に予後調査シートの記入時間について、1 ケースについて平均 17 分程度で記載できた一方、問題行動や詳細な内容の記載が必要な場合、記載時間が大幅に長くなる様子が見られた。

その他、自由記載欄には、「発達障害ケースで難渋している」、「クロザピンの対象者は特定の医療機関に集中してしまう」、「スタッフの負担が大きい。対象者 1 人に割く時間と労力が大きい」、「処遇終了後どうしていけばいいか悩む」、「処遇終了した後、

支援者の引継ぎや役割分担が円滑に行われず、支援が手薄。病院に丸投げ」、「入院通院 処遇終了までシームレスな移行が行われていない」、「入院医療機関からの情報と通院開始してからわかり実態が大きく異なる。連携のあり方に苦慮している」、「医療観察法医療について学ぶ機会がほしい。評価シート等の使用法などわからない」、「調整官の質担保とスキル均一化、行政職員には主体性とイニシアチブを取ってほしい」、「9年間対象者受入れの打診がない」など、多くの意見が寄せられた。

D．考察

1．対象調査数及び回収数

法務省犯罪白書より、平成 26 年から平成 30 年の 5 年間の精神保健観察の平均件数は、毎年 650 件程度で推移している。これらを参考にすると今回二次調査で収集できたサンプルは、通院処遇対象者の 17% 程度を調査していると考えられる。一次調査では 72% の回収率があった一方、二次調査では 17% 程度の低い水準に止まった。どちらも紙媒体でのアンケート調査であったが、回収率に大きな差が生じた要因として、調査方法、調査項目数の違い、被験者へのインフォームドコンセント（以下 I.C）の要否などが考えられる。また、一次調査において、対象者を受入れたことのある施設 392 施設中 226 施設が問題行動を含む複雑事例「あり」（58%）と回答している一方、二次調査では問題行動が 1 割にしか認められなかった。このことから二次調査では、複雑事例や問題行動のあるケースを調査対象にできなかつたり、調査協力が得られなかったことが推察される。

今後は二次調査の回収率を上げていくことが課題となる。そのために、調査項目の絞り込み、インフォームド・コンセントに

ついて研究協力者、被験者の双方に負担にならないような工夫、アンケート回答について研究協力者の負担ができる限り軽減できる仕組みが必要と考える。一次調査の回答にもある通り、「毎月の提出書類」に 3 割が負担感を感じているため、すでに行っている記録作業をそのまま転記できたり、自動的にアップロードできるような仕組みがあることが望ましい。

また、600 を超える通院医療機関や年間 600 名を超える通院処遇対象者に研究協力を求め、データ回収していくことは極めて困難と思われ、母集団の代表制を担保できる回収数を目指していく検討も必要と考える。その際は研究協力施設の絞り込みを検討していくことも必要と思われる。

2．一次調査

通院医療機関の医療状況の実態について、平成 29 年に実施した同様の実態調査と比較すると、指定通院医療機関数は 563 施設から 687 施設に増えた。対象者を受入れたことがない施設は前回調査時は 9% だったが今回 14% に若干増えた。新たに通院指定を受けた医療機関が 120 施設増えていることが影響していると考えられる。

対象者受入れ人数についても、5 名以下が最も多く、6 名以上受入れている施設は全体の数% となる傾向も前回の調査と同様であった。指定通院医療機関数は増えている一方で、各機関での通院処遇対象者の臨床経験の蓄積は進んでいないと考える。

負担になっている業務について、先述した結果の通りであるが、自由記載で「通常の他の業務を変わりはない」、「精神保健福祉士の連携業務として当然」という意見もあった。対象者の受入れに慣れている施設と慣れていない施設で負担感に違いが生じたと考えられる。

複雑事例について、「病状が安定しない」、「医療への不順守」が高かった。地域生活に適応していくために手厚い介入が継続的に求められているとともに、強制医療下における対象者と医療者の関係構築が課題となっていることが要因として考えられる。通院処遇における複雑事例の実態を把握するとともに通院処遇における効果的な介入を検証していくことも課題である。

3. 二次調査

一次調査で把握できた複雑事例の問題行動件数に比べ、二次調査で把握できた問題行動の件数の割合は少なかったことから、二次調査で回収できたサンプルの特徴は、通院処遇中の予後が比較的安定している群であると考えられる。複雑事例の予後および実態は今回の調査からは把握できていない。

直接通院事例の予後については、不明な点が多いことに加え、移行通院に比べ事例が少ない。今後は直接通院の事例が集積できる工夫が求められる。

処遇状況については、調査期間中に処遇終了した事例が 29 事例あった。自由記載にもある通り、処遇終了した後の予後で難渋したり、関係機関間でコンセンサスを得ることが難しい現状も散見される。処遇終了した対象者の予後調査も重要な課題のひとつである。

E. 結論

本研究は、通院処遇の実態を安定的かつ継続的に把握・検証することで医療水準を向上させることを目的とした通院データベースシステム構築に関する提言を行うことを目指し研究を進めた。平成 31 年度は通院医療機関の医療状況調査と対象者の予後調査を開始した。その結果、調査方法、調

査内容等によって回収率に影響が生じた。

今後は回収率を上げるために、調査方法、調査内容を再検討し、被験者要因への対策、研究協力施設の絞り込みなどが課題としてあげられた。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

- 1) 久保彩子，前上里泰史，吉田和史，大鶴 卓，野村照幸，高野真弘，高平大悟：指定通院医療のさらなる発展を目指した指定通院医療従事者研修の在り方についての検討と考察．第 15 回日本司法精神医学会大会，花巻，2019.6.6

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

I. 謝辞

本調査に先立ち、本研究に関してご協力をいただいた公益社団法人日本精神科病院協会および公益財団法人日本精神神経科診療所協会ならびに分担班会議にて多大なるご助言いただいた先生方、そして調査にご協力いただいた全国の指定通院医療機関の

施設長、通院医療を担当されている精神保健福祉士の皆様、通院チームスタッフの皆様のご協力に深謝致します。

参考文献

- 1) 厚生労働省：通院処遇ガイドライン、地域処遇ガイドライン
- 2) 厚生労働省ホームページ 心神喪失者等医療観察法
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougai-shahukushi/sinsin/index.html
- 3) 平成 30 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業(精神障害分野)）「医療観察法の制度対象者の治療・支援体制の整備のための研究(平林直次)」 分担研究報告書「指定通院医療機関退院後の予後に影響を与える因子の同定に関する研究」竹田康二
- 4) 平成 30 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業(精神障害分野)）「医療観察法の制度対象者の治療・支援体制の整備のための研究(平林直次)」 分担研究報告書「指定入院医療機関データベースシステムを活用した研究」河野稔明
- 5) 平成 29 年度国立研究開発法人日本医療研究開発機構委託研究 長寿・障害総合研究事業 障害者対策総合研究開発事業（精神障害分野）「医療観察法における、新たな治療介入法や、行動制御に係る指標の開発等に関する研究(平林直次)」研究開発分担報告書「指定通院医療機関の機能分化に関する研究」大鶴卓
- 6) 法務省ホームページ
令和元年度版犯罪白書
http://www.moj.go.jp/housouken/housou_hakusho2.html

図1 調査のフローチャート

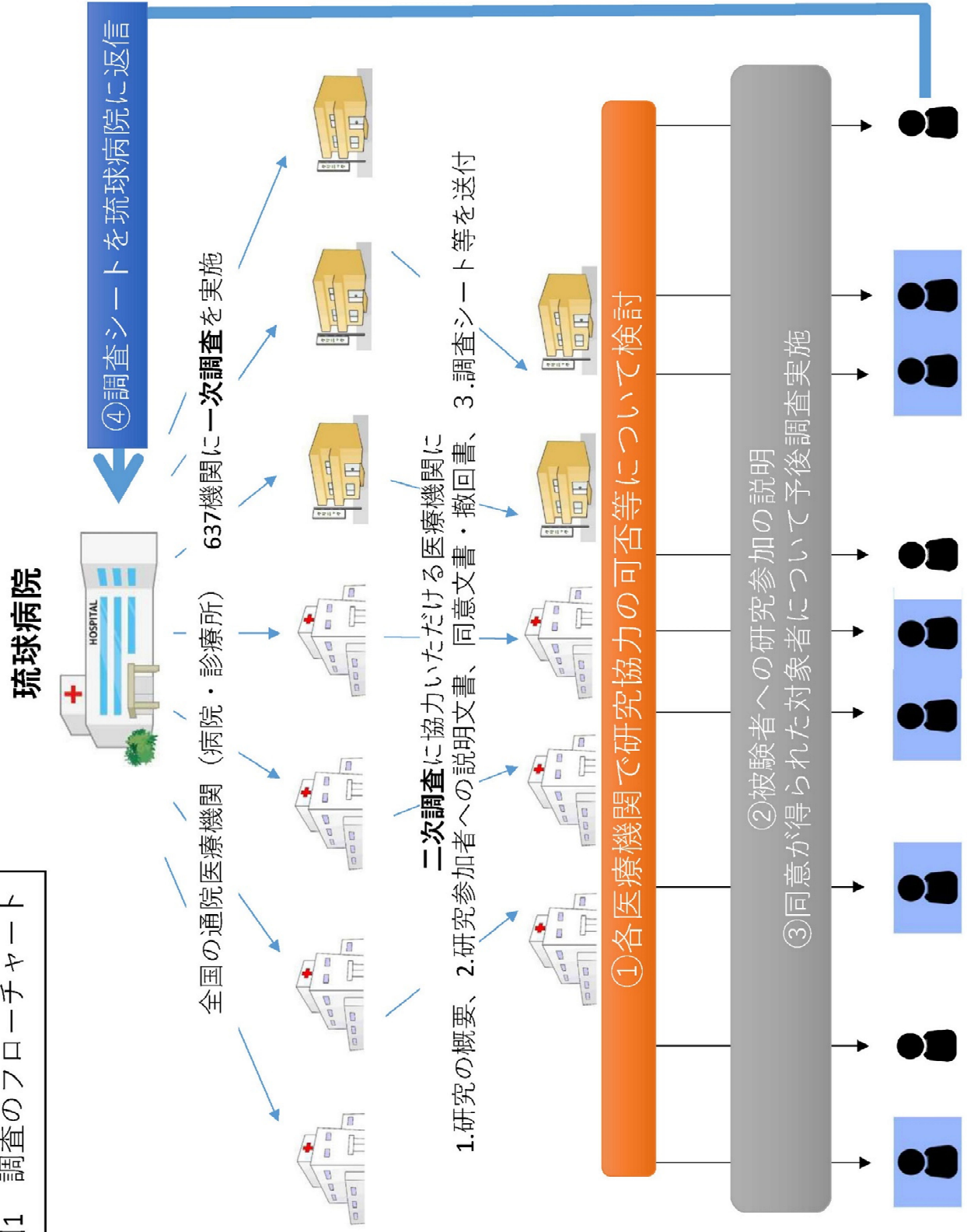


表1 一次調査

医療観察法通院医療に関するアンケート

【医療機関名】 _____

【所在地】 _____

【連絡先】 tel: _____ fax: _____

【アンケート回答者】 _____ 【職種】 _____

貴院の医療観察法通院医療の状況について、以下のアンケートに回答をお願いいたします。
該当する項目の□にチェック、または必要事項をご記入ください。

| | | | | |
|---|---|--|--|--|
| 1.指定通院医療機関になってから現在までの通院処遇対象者の受入れ状況 | <input type="checkbox"/> 受け入れたことがない→アンケートは終了 <input type="checkbox"/> 受け入れたことがある→以下の質問についてご回答ください | | | |
| 2.2018年7月16～2019年7月15日の期間内の通院処遇対象者の有無と人数 | <input type="checkbox"/> なし 対象者の人数 _____ 名 <input type="checkbox"/> あり→ | | | |
| 3.通院対象者受け入れ上限数の有無 | <input type="checkbox"/> なし 上限数 _____ 名まで <input type="checkbox"/> あり→ | | | |
| 4.通院対象者の受入れは、業務の負担になっている | <table border="0"> <tr> <td data-bbox="491 757 699 1059"> <input type="checkbox"/> かなり思う <input type="checkbox"/> 思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> 思わない <input type="checkbox"/> まったく思わない </td> <td data-bbox="699 757 715 1059" style="text-align: center;">} →</td> <td data-bbox="715 757 1420 1059"> 【理由】複数回答可 <input type="checkbox"/> 対象者受け入れ前の事前準備等 <input type="checkbox"/> 毎月の提出書類作成 <input type="checkbox"/> ケア会議への参加 <input type="checkbox"/> 院内多職種チームへの連絡・調整 <input type="checkbox"/> 院外関係機関への連絡・調整 <input type="checkbox"/> 社会復帰調整官への連絡・調整 <input type="checkbox"/> 対象者や家族への連絡・調整 <input type="checkbox"/> その他 (_____) </td> </tr> </table> | <input type="checkbox"/> かなり思う <input type="checkbox"/> 思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> 思わない <input type="checkbox"/> まったく思わない | } → | 【理由】 複数回答可 <input type="checkbox"/> 対象者受け入れ前の事前準備等 <input type="checkbox"/> 毎月の提出書類作成 <input type="checkbox"/> ケア会議への参加 <input type="checkbox"/> 院内多職種チームへの連絡・調整 <input type="checkbox"/> 院外関係機関への連絡・調整 <input type="checkbox"/> 社会復帰調整官への連絡・調整 <input type="checkbox"/> 対象者や家族への連絡・調整 <input type="checkbox"/> その他 (_____) |
| <input type="checkbox"/> かなり思う <input type="checkbox"/> 思う <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> 思わない <input type="checkbox"/> まったく思わない | } → | 【理由】 複数回答可 <input type="checkbox"/> 対象者受け入れ前の事前準備等 <input type="checkbox"/> 毎月の提出書類作成 <input type="checkbox"/> ケア会議への参加 <input type="checkbox"/> 院内多職種チームへの連絡・調整 <input type="checkbox"/> 院外関係機関への連絡・調整 <input type="checkbox"/> 社会復帰調整官への連絡・調整 <input type="checkbox"/> 対象者や家族への連絡・調整 <input type="checkbox"/> その他 (_____) | | |
| 5.通院処遇中の事例に複雑事例がある | <table border="0"> <tr> <td data-bbox="491 1059 603 1538"> <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり→ </td> <td data-bbox="603 1059 1420 1538"> 【理由】複数回答可 <input type="checkbox"/> 重大な他害行為（6罪種）があった <input type="checkbox"/> 重大な他害行為以外の他者への身体的な暴力（性的なものを除く）があった <input type="checkbox"/> 性的逸脱行動があった <input type="checkbox"/> 他者への非身体的な暴力（暴力的言動や態度）があった <input type="checkbox"/> 軽微な犯罪行為があった（窃盗、万引き、無銭飲食、器物損壊など） <input type="checkbox"/> 自傷・自殺企図 <input type="checkbox"/> 医療への不順守（通院・通所/服薬の不順守、訪問看護・訪問観察に関わる重大なルール違反） <input type="checkbox"/> アルコール問題（アルコール有害使用・依存、依存症者の再飲酒） <input type="checkbox"/> 薬物等の問題使用（違法薬物・処方薬・市販薬等の有害使用、依存、依存症者の再使用） <input type="checkbox"/> 病状が安定しない <input type="checkbox"/> 精神保健福祉法入院を繰り返す、または長期入院している <input type="checkbox"/> 家族の非協力的な態度（医療不信、医療拒否、財産の搾取など） <input type="checkbox"/> 金銭管理の問題 <input type="checkbox"/> 生活能力、ADLの低下により生活が困難 <input type="checkbox"/> その他 (_____) </td> </tr> </table> | <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり→ | 【理由】 複数回答可 <input type="checkbox"/> 重大な他害行為（6罪種）があった <input type="checkbox"/> 重大な他害行為以外の他者への身体的な暴力（性的なものを除く）があった <input type="checkbox"/> 性的逸脱行動があった <input type="checkbox"/> 他者への非身体的な暴力（暴力的言動や態度）があった <input type="checkbox"/> 軽微な犯罪行為があった（窃盗、万引き、無銭飲食、器物損壊など） <input type="checkbox"/> 自傷・自殺企図 <input type="checkbox"/> 医療への不順守（通院・通所/服薬の不順守、訪問看護・訪問観察に関わる重大なルール違反） <input type="checkbox"/> アルコール問題（アルコール有害使用・依存、依存症者の再飲酒） <input type="checkbox"/> 薬物等の問題使用（違法薬物・処方薬・市販薬等の有害使用、依存、依存症者の再使用） <input type="checkbox"/> 病状が安定しない <input type="checkbox"/> 精神保健福祉法入院を繰り返す、または長期入院している <input type="checkbox"/> 家族の非協力的な態度（医療不信、医療拒否、財産の搾取など） <input type="checkbox"/> 金銭管理の問題 <input type="checkbox"/> 生活能力、ADLの低下により生活が困難 <input type="checkbox"/> その他 (_____) | |
| <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり→ | 【理由】 複数回答可 <input type="checkbox"/> 重大な他害行為（6罪種）があった <input type="checkbox"/> 重大な他害行為以外の他者への身体的な暴力（性的なものを除く）があった <input type="checkbox"/> 性的逸脱行動があった <input type="checkbox"/> 他者への非身体的な暴力（暴力的言動や態度）があった <input type="checkbox"/> 軽微な犯罪行為があった（窃盗、万引き、無銭飲食、器物損壊など） <input type="checkbox"/> 自傷・自殺企図 <input type="checkbox"/> 医療への不順守（通院・通所/服薬の不順守、訪問看護・訪問観察に関わる重大なルール違反） <input type="checkbox"/> アルコール問題（アルコール有害使用・依存、依存症者の再飲酒） <input type="checkbox"/> 薬物等の問題使用（違法薬物・処方薬・市販薬等の有害使用、依存、依存症者の再使用） <input type="checkbox"/> 病状が安定しない <input type="checkbox"/> 精神保健福祉法入院を繰り返す、または長期入院している <input type="checkbox"/> 家族の非協力的な態度（医療不信、医療拒否、財産の搾取など） <input type="checkbox"/> 金銭管理の問題 <input type="checkbox"/> 生活能力、ADLの低下により生活が困難 <input type="checkbox"/> その他 (_____) | | | |

今後、貴院で受け入れている各対象者の医療状況に関する詳細の調査を実施する場合、ご協力いただけますか？ 可 ・ 不可

【自由記載欄（指定通院医療に関するご意見・ご要望等ございましたら下記に記載ください）】

表2 二次調査

通院医療予後調査シート

| | | | |
|-----------------|------|--|--|
| 医療施設名 (責施設名) | 都道府県 | 2018年7月16日～2019年7月15日の期間内で 通院処遇対象者の有無 | <input type="checkbox"/> あり⇒以下記入 <input type="checkbox"/> なし⇒以下記入なし |
|-----------------|------|--|--|

2018年7月16日～2019年7月15日の期間内で通院処遇対象者がいる場合、以下についてご記入ください

| | | | | | | |
|-----------------------|---|--|---|------------------------|--|--------------------------|
| 例 | 琉球1 | 性別 | 年齢 | 医療観察法処遇回数 | 医療観察法処遇形態 | 通院処遇開始年月日 (入力例:2019/〇/△) |
| 対象者ID | | <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 | | 回 | <input type="checkbox"/> 移行通院 (入院→通院) <input type="checkbox"/> 直接通院 | |
| 対象行為 | <input type="checkbox"/> 殺人・殺人未遂 <input type="checkbox"/> 強姦性交等 | <input type="checkbox"/> 傷害 <input type="checkbox"/> 強制わいせつ | <input type="checkbox"/> 放火 <input type="checkbox"/> 強盗 | 主診断 (ICD) 副診断 (ICD) | (F---) (F---) | 保護観察所 |
| 2019年7月15日時点の 処遇状況 | <input type="checkbox"/> 通院処遇継続中 <input type="checkbox"/> 通院処遇終了 | | 通院処遇終了年月日(例:2019/〇/△) 年 月 日 | | 通院処遇終了時点での対象者の状況 | |
| | 通院処遇終了した場合 通院処遇終了した理由 | | <input type="checkbox"/> 通院処遇期間満了終了 <input type="checkbox"/> 本法による医療が不要 <input type="checkbox"/> 死亡 <input type="checkbox"/> 医療観察法による再入院※ <input type="checkbox"/> その他【 】 | | <input type="checkbox"/> 精神保健福祉法による入院 <input type="checkbox"/> 精神保健福祉法による通院 <input type="checkbox"/> 精神科医療の終了 <input type="checkbox"/> 死亡 【死亡理由: 】 | |

以下については、上記対象者について2018年7月16日～2019年7月15日の期間内についてお伺いします

| | | | |
|---|---|---|--|
| 1.再被害行為の有無・ 内容等 | <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり | ありの場合 <input type="checkbox"/> 1.殺人・殺人未遂 <input type="checkbox"/> 2.傷害 <input type="checkbox"/> 3.放火 <input type="checkbox"/> 4.強姦性交等 <input type="checkbox"/> 5.強制わいせつ <input type="checkbox"/> 6.強盗 | 行為日 (西暦) 年 月 日 転帰【 】 |
| 2.自殺企図の有無・ 内容等 | <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり | ありの場合 <input type="checkbox"/> 未遂 <input type="checkbox"/> 既遂 (死亡) | 回数 遂行日 年 月 日 内容・転帰【 】 遂行日 年 月 日 内容・転帰【 】 |
| 3.問題行動の有無・ 内容等 (複数回答可) | <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり | ありの場合 <input type="checkbox"/> 他者への身体的な暴力 (質問項目1再被害行為以外のもの) <input type="checkbox"/> 他者への非身体的な暴力 (身体接触のない、暴力的言動や態度など) <input type="checkbox"/> 医師の不順守 (通院・通所/服薬の不順守) <input type="checkbox"/> 訪問看護・訪問観察に関わる重大なルール違反) <input type="checkbox"/> 性的逸脱行為 <input type="checkbox"/> その他 (犯罪行為等) | 行為日 (西暦) 年 月 日 内容・対応【 】 行為日 (西暦) 年 月 日 内容・対応【 】 行為日 (西暦) 年 月 日 内容・対応【 】 行為日 (西暦) 年 月 日 内容・対応【 】 行為日 (西暦) 年 月 日 内容・対応【 】 |
| 4.クロザピン 使用の有無 | <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり | | |
| 5.持続性注射薬の使用 | <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり | | |
| 6.アルコールの使用 | <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり | ありの場合 <input type="checkbox"/> 一時使用 <input type="checkbox"/> 有害使用 <input type="checkbox"/> 依存状態 | |
| 7.薬物等の問題使用 | <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり | ありの場合 <input type="checkbox"/> 有害使用 <input type="checkbox"/> 依存状態 | 薬物名 <input type="checkbox"/> 違法薬物 <input type="checkbox"/> 危険ドラッグ <input type="checkbox"/> 有機溶剤等 <input type="checkbox"/> 各種併用 <input type="checkbox"/> 市販薬・処方薬 <input type="checkbox"/> その他 |
| 8.精神保健福祉法による 入院の有無 | <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり | ありの場合 | 入院日 (例:2019年〇月△日) 年 月 日 退院日 年 月 日 入院時の入院形態 1回目入院 年 月 日 年 月 日 <input type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 医療保護 <input type="checkbox"/> 応急 <input type="checkbox"/> 措置・緊急措置 2回目入院 年 月 日 年 月 日 <input type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 医療保護 <input type="checkbox"/> 応急 <input type="checkbox"/> 措置・緊急措置 3回目入院 年 月 日 年 月 日 <input type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 医療保護 <input type="checkbox"/> 応急 <input type="checkbox"/> 措置・緊急措置 4回目入院 年 月 日 年 月 日 <input type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 医療保護 <input type="checkbox"/> 応急 <input type="checkbox"/> 措置・緊急措置 ※昨年または昨年より以前から入院している場合 → 年 月 日 から入院中 |
| 9.2019.7.15時点の就 労の有無・雇用形態 | <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり | ありの場合 雇用形態 <input type="checkbox"/> 一般正規社員 <input type="checkbox"/> 障害者枠正規雇用 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト <input type="checkbox"/> 福祉的就労 (A型/B型就労) | 勤務日数・勤務時間 週 回 1勤務 時間 |
| 10.2019.7.15時点の生 計 (複数回答) | <input type="checkbox"/> 給与等 <input type="checkbox"/> 貯蓄 <input type="checkbox"/> その他 () | <input type="checkbox"/> 貯蓄 <input type="checkbox"/> 資産による収入 <input type="checkbox"/> 家族からの支援 | <input type="checkbox"/> 障害年金 <input type="checkbox"/> 他公的年金 <input type="checkbox"/> 生活保護 |
| 11.2019.7.15時点の居 住形態 | <input type="checkbox"/> 家族同居 <input type="checkbox"/> 介護保険施設 <input type="checkbox"/> 介護施設 <input type="checkbox"/> その他 () | <input type="checkbox"/> 単身生活 <input type="checkbox"/> グループホーム <input type="checkbox"/> 生活訓練施設 <input type="checkbox"/> 知的障害者入所施設 | <input type="checkbox"/> 民間リハビリ施設 (MAC/DARC等) |
| 12.2019.7.15時点の精神 保健福祉サービス等の利用 (複数回答) | <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり | ありの場合 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> デイケア <input type="checkbox"/> 自助グループ (AA/NA/断酒会) | <input type="checkbox"/> 保健所の定期訪問 <input type="checkbox"/> 地域活動支援センター <input type="checkbox"/> 民間リハビリ施設 (MAC/DARC等) <input type="checkbox"/> 市役所職員の定期訪問 <input type="checkbox"/> 就業支援事業所 <input type="checkbox"/> ヘルパー <input type="checkbox"/> 生活訓練 <input type="checkbox"/> デイサービス (介護保険) |

共通評価項目 (2019.7から直近の評価点を記入)

| 要素 | 具体的要素 | 点 | 要素 | 具体的要素 | 点 |
|-----------|----------|---|------------------------|-----------|---|
| 疾病治療 | 精神病症状 | | 治療影響要因 | 物質乱用 | |
| | 内省・洞察 | | | 反社会性 | |
| | アドヒアランス | | | 性的逸脱行動 | |
| セルフコントロール | 共感性 | | 退院地環境 | 個人の支援 | |
| | 治療効果 | | | コミュニティ要因 | |
| | 非精神病性症状 | | | 現実的計画 | |
| | 認知機能 | | | 治療・ケアの継続性 | |
| | 日常生活能力 | | | | |
| | 活動性・社会性 | | 【備考 (共通評価項目に関する補足事項等)】 | | |
| | 衝動コントロール | | | | |
| | ストレス | | | | |
| | 自傷・自殺 | | | | |

【備考 (補足事項等あればご記入ください)】

| | | | | | |
|--------|--------|-------|-------|---------------|---|
| シート作成者 | (職種:) | 作成年月日 | 年 月 日 | 本シート作成にかかった時間 | 分 |
|--------|--------|-------|-------|---------------|---|

表3 一次調査の概要

| | |
|-------------------------------------|---|
| 一次調査返信施設数 | 459 (72.1%) 病院:417 (74.1%) 診療所:42 (56.8%) |
| 対象者受入れ状況 | 受入れたことがある:病院355施設 診療所37施設 受け入れたことがない:病院60施設 診療所7施設 |
| 2018.7.16-2019.7.15時点の 対象者の有無と人数 | なし:155施設 あり:304施設 受入れ人数 1名:155施設 2名:79施設 3名:40施設 4名:19施設 5名:5施設 6名:5施設 7名:4施設 8名以上:3施設 |
| 対象者受入れは業務負担に なっている (n=392) | かなり思う:18% 思う:59% どちらでもない:17% あまり思わない:5% 思わない:1% |
| 負担になっている業務 (複数 回答可) | 受入れ前事前準備:17% 毎月の提出書類:32% ケア会議参加:18% チームへの連絡・調整:13% 関係機関への連絡・調整:7% 調整官への連絡・調整:6% 対象者・家族への連絡調整:3% その他:4% |
| 処遇中の事例に複雑事例があ る (n=395) | あり:229施設 なし:163施設 不明:3施設 |
| 複雑事例の内容 (n=229) | 重大な他害行為 (6罪種):8件 他者への身体的な暴力:22件 性的逸脱行動:16件 他者への非身体的な暴力:32件 軽微な犯罪行為:19件 自傷・自殺企図:19件 医療への不順守:72件 アルコール問題:24件 薬物等の問題使用:18件 病状が安定しない:87件 精神保健福祉法の入院繰り返し、または長期入院:62件 家族の非協力的態度:49件 金銭管理の問題:52件 生活能力、ADLの低下:30件 その他:62件 |
| 今後の対象者の予後調査の協 力の可否 (n=392) | 可:233 不可:99 不明または内容による:60 |

表4 二次調査の概要 (n=116)

| | |
|------------------|---|
| 性別 | 男性:89 女性:27 |
| 年齢 | 平均48歳±11.6s.d 中央値47歳 範囲 28歳～77歳 |
| 医療観察法処遇形態 | 移行通院:101 直接通院:14 |
| 対象行為 | 殺人・殺人未遂:33 (28%) 傷害:46 (40%) 放火:24 (21%) 強盗:6 (5%) 強制わいせつ:6 (5%) 強制性交等:0 |
| 診断名 | F0:1名 F1:3名 F20:92名 F30:13名 F53 :1名 F60:4名 F8:1名 |
| 対象行為 | 殺人・殺人未遂:33 (28%) 傷害:46 (40%) 放火:24 (21%) 強盗:6 (5%) 強制わいせつ:6 (5%) 強制性交等:0 |
| 2019.7.15時点の処遇状況 | 通院継続中:87 (74%) 処遇終了:29 (25%) |
| 処遇終了した理由 | 期間満期終了:21 本法による医療が不要:5 死亡:0 再入院:1 その他:1 不明:1 |
| 処遇終了時点での対象者の状況 | 精神保健福祉法入院:3 精神保健福祉法通院:24 精神科医療の終了:0 死亡:0 |

表5 二次調査結果 (n=116)

| | 有無 | 内容 |
|---------------------------|------------|---|
| 1. 再他害行為 | 有:1 無:115 | 傷害:1 |
| 2. 自殺企図 | 有:3 無:113 | 未遂:3 |
| 3. 問題行動 | 有:13 無:103 | 他者への身体的な暴力:2 他者への非身体的な暴力:3 医療の不順守:5 性的逸脱行動:1 その他:2 |
| 4. クロザピンの使用 | 有:18 無:98 | - |
| 5. 持続性注射薬の使用 | 有:28 無:87 | - |
| 6. アルコールの使用 | 有:19 無:97 | 一時使用:17 有害使用:2 依存状態:0 |
| 7. 薬物等の問題使用 | 有:3 無:113 | 有害使用:3 依存状態:0 |
| 8. 精神保健福祉法入院の有無 | 有:26 無:90 | 1回目入院:26 医療保護:14 任意:12 2回目入院:7 医療保護:2 任意:5 3回目入院:1 任意:1 4回目入院:1 任意:1 |
| 9. 就労の有無 | 有:40 無:76 | 一般正規社員:5 障害者枠正規雇用:3 パート、アルバイト:2 福祉的就労A型・B型:30 |
| 10. 収入（複数回答可） | - | 給与等:28 貯蓄:16 資産による収入:2 家族からの支援:21 障害年金:52 他公的年金:9 生活保護:43 その他:3 |
| 11. 住居 | - | 家族同居:28 単身生活:32 グループホーム:23 生活訓練施設:10 知的障害者入所施設:0 民間リハビリ施設:3 介護保険施設:3 救護施設:1 その他:14 |
| 12. 精神保健福祉サービス等の利用（複数回答可） | 有:102 無:14 | 訪問看護:86 保健所の定期訪問:44 市役所職員の定期訪問:23 ヘルパー:13 デイケア:50 地域生活支援センター:20 就労支援事業所:26 生活訓練:12 自助グループ:3 民間リハビリ施設:4 デイサービス:1 |
| 13. シート記載時間 | - | 平均17分±14分 中央値15分 範囲5分～120分 |